

新型コロナウイルス感染症について vol.2

～子どもが感染したら、また保護者が感染したら～

新型コロナウイルス感染症について

主に、口や鼻からでる飛沫(しぶき)でうつります。また、空気中にしばらくウイルスが漂うことがありますので注意が必要です。手が触れたところにウイルスは数日間残ることがあり、同じところを触れた人の手から鼻や口に入り込み感染することもあります。また、ウイルスは便にも排出されます。



子どもの感染経路と症状

- 子どもの感染は、約80%が家庭内、特に両親や祖父母からの感染です。
- 成人に比べて、軽症や、無症状のことが多い傾向にあります。
- 症状は、発熱、せき、のどの痛み、下痢、嘔吐、筋肉痛など、かぜの症状に似ています。
- 10代の感染者では、頭痛も多くみられています。
- 肥満、基礎疾患のあるお子さんは、重症化しやすくなります。

感染が疑われる場合には、かかりつけ医や長崎県受診・相談センター(電話番号:0120-071126)に電話でご相談ください。

家族内で感染を広げないために



★マスクの着用

- 不織布マスクまたは布マスクを使用しましょう(ウレタンマスクでは予防効果が低いので)。
- 2歳未満のお子さんへのマスクの着用はやめましょう。熱がこもってしまう、嘔吐したときに窒息しやすいなど危険です。
- 2歳以上のお子さんでも部屋に1人で休んでいる場合は、マスクは不要です。
- お世話をする家族は、必ずマスクをしましょう。そのときはお子さんも可能であればマスクをしましょう。
- 症状がでてから10日間、もしくは症状が治まってから3日間のどちらか長い期間の日数が過ぎたら家庭内ではマスクを外しても構いません。

★日常生活に関して

- 感染者の部屋はできるだけ限定し、子どもが過ごす場所を決めましょう。
- 部屋の共有スペースは定期的に換気をしましょう。
- 身の周りの世話をするときはマスクをつけ、可能であれば使い捨てのエプロンや手袋を使うようにしましょう。(体を拭いたり、食事の介助、オムツや吐いたものの処理、だっこ、添い寝の時など)
- オムツを捨てる際にはビニール袋で密閉し、さらにもう1枚のビニール袋で2重に密閉して捨てましょう。使用済みマスクや、鼻をかんだティッシュなども同様に処置して、その後は必ず手を洗いましょう。
- トイレで用を足した後、蓋を閉めてから水を流しましょう。トイレ清掃は家庭用の洗剤でしっかりと掃除をし、必ず手を洗いましょう。
- 食器、歯磨き粉や洗顔、タオルの共有は避けましょう。
- 食事は可能であれば別室でするか、時間をずらしましょう。

自宅療養中の相談先について
(右記QR、県内保健所連絡先)

